

## カナダ アジア市場で伸びるリンゴ需要

FreshPlaza 2023年5月18日

カナダのスコティアゴールド協同組合によると、東南アジア市場でリンゴの需要が高まっている。同組合のサマンサ・アレン販売部長は、「我々は、主に店内プロモーションと小売業者と直接連携してターゲットを絞った販促用デジタル素材の制作を通じて、アジア市場でスコティアゴールドのブランドイメージを築き上げた。我々は、世界で、特にアジアの複数の市場でプレゼンスを拡大した」と述べた。(以下「」は同氏の発言)

同協同組合はアジア、特にベトナムとシンガポールに進出している。国内のリンゴ市場は国内産のリンゴの需要を高めるために利用しており、同協同組合は米国市場でも好調である。

「我々はカナダ全土のすべての主要小売ブランドに出荷しており、国内のリンゴ市場では、新しい品種に投資し、品質への取り組みを維持することにより、地元のカナダ東海岸産のリンゴの需要を引き続き拡大するチャンスがあると見ている。さらに、当協同組合のプレミアムハニークリbspは、米国市場で大変人気がある。当組合は、広範な販売網と市場の専門知識を持つニューヨークアップルセールス社との戦略的連携関係を通じて、この重要な市場で存在感を増してきた。米国でのハニークリbspの需要は、品質及び保管技術への投資と業界で最高の生産者の組合せにより、引き続き高まっている。東南アジア市場では、カナダ産をはじめとする多くのリンゴ品種の需要が増加を続けている。現在の市場の状況は、消費者がインフレに伴う予算の制約に直面する中でも、リンゴが依然として価値の高い選択肢であることを証明している。」

同協同組合は、カナダの大西洋岸で出荷されるリンゴの65%を保管・梱包している。これは、カナダ東部で最大のリンゴの梱包・保管事業である。同組合の果実は、3千エーカー(1,200ヘクタール)以上をカバーする州全域の50以上の家族経営のリンゴ園から集まる。同協同組合は、ノバスコシア州のコールドブルック、ブルックリン、トゥルロの3地区に産地販売所を展開している。そこでは、ペットや馬関連の製品も販売されている。同協同組合のリンゴ事業の本部及び梱包・出荷施設は、ノバスコシア州のコールドブルック町にある。

アレン部長は、ハニークリbspが果実の半分以上を占めていると言う。「また、アンブロシア、スウィータンゴ、ガラのほか、少量だがマッキントッシュ、コートランド、ジョナゴールドなどの古い品種もある。価値の高い品種は量が増えている。リンゴの収穫期は8月中旬に始まり、11月中旬まで続く。この夏、2023年の販売シーズンに運用できるよう新しい選果システムを導入する。また、2023年の収穫までに稼働するよう貯蔵施設の拡張も行っている最中だ。春の状況に変わったことはなく、今年は平年並みの収穫を期待している。」

「当協同組合は、独特の微気候により優れた栽培条件を持つ地域に立地している。組合員の家族経営農場はすべて、ファンディ湾からわずか数マイル以内の場所にあり、アナポリスバレーの両側の2つの山脈によって守られている。昼間の暑さと夜の涼しさは、世界に通用する果実の色と食体験を生み出す。梱包、貯蔵、収穫技術への我々の戦略的投資は際立っている。若い家族から第5世代の生産者まで、世界最高の生産者がいる。当協同組合は、拡張を続けるハリファックス港からわずか1時間のところにある。」

**課題** 同協同組合は、世界中の青果物事業が直面しているのと同じ課題、すなわち、貨物運賃、労働力、他の主要産地での生産の増加、栽培や包装のコストの増加に直面している。「我々が自分たちに課した最大の課題の1つは、持続可能な包装のリーダーになることである。」

**リンゴ品種の増殖** 「我々が行う最もエキサイティングなことの1つは、次の素晴らしいリンゴを世界中から探し出すことだ。我々の栽培条件は独特であるため、植栽を検討する前に品種をテストする必要がある。このテストにより、少量だが世界中の多くの育種プログラムによる果実を調べることができる。これは我々の生産者にとってリスクが低く、協同組合にとっては大きな利点である。形、色、風味、収穫期、さらに栽培上の課題は多様であり、この取り組みを絶えず興味深いものにしていく。」

「売り場の棚にあるリンゴの品種が増えているということは、リンゴが過渡期にあることを示している。我々の生産者によるすべての革新と取り組みは、売り場のリンゴを増やすのではなく、むしろ高いレベルの食体験を提供する新しい革新的な品種への移行につながるものである。リンゴが進化するにつれて、一部の遺伝的な品種の量が減り、消費者は革新的で新しいリンゴの選択肢を堪能できるようになる。」

執筆者: クレイトン・スワート